

教科名	家庭	週時間数	1時間	学年	2年
使用教科書 副教材等	・教科書「新編 新しい技術・家庭 家庭分野」 自立と共生を目指して 東京書籍				

教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住などの生活にかかわる基本的な知識及び技術を習得することにより、生活の自立を目指す。</li> <li>・自分の家庭を取り巻く社会や環境に関心を持ち、生活をよりよく豊かに創造する能力と態度を育成する。</li> </ul>				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は、学習プリントをまとめながら、生活と家庭科との関わりを考える。</li> <li>・実習活動では、準備・作業・後片付けをグループで協力して取り組む。</li> </ul>				
定期テスト	出題方針	授業で学習した内容を中心に出题します。			
	範囲 (予定)	1学期中間	実施しません		
		1学期期末	幼児の生活と家族		
		2学期中間	実施しません		
		2学期期末	幼児の生活と家族		
	学年末	幼児の生活と家族、持続可能な家庭・地域生活、衣生活、1年間のまとめ			
評価方法	知識・技能	授業の取り組み、実習の取り組み、提出物(内容)、定期テスト			
	思考・判断・表現	授業の取り組み、実習の取り組み、提出物(内容)、定期テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取り組み、実習の取り組み、提出物(内容・期日)			
学習方法 (先生からのアドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の日常生活に関心を持ち、課題を解決していくための手立てを考えよう。</li> <li>・学んだことを自分の生活に役立てていこう。</li> <li>・授業や課題には集中して取り組み、実習では安全面に配慮して取り組もう。</li> <li>・ともに学習する仲間への心づかいをしよう。</li> <li>・提出物の期限を守ろう。</li> </ul>				

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	幼児の生活と家族	・幼い頃の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の体の発達の特徴を理解する。</li> <li>・幼児の運動機能の発達を理解する。</li> <li>・幼児の言葉や認知,情緒,社会性の発達の特徴を理解する。</li> <li>・幼児の1日の生活の特徴を理解する。</li> <li>・幼児のおやつを選び方を考える。</li> <li>・幼児が生活習慣を身に付けるには,まわりの大人の支えが必要であることを理解する。</li> </ul>
	5		・幼児の心の発達	
	6		・幼児の1日の生活	
	7		・幼児の生活習慣	
2	9	幼児の生活と家族	・自分史製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長を振り返ることにより,幼児の心身の発達について,より理解を深め,家族との関わりを理解する。</li> <li>・幼児にとっての遊びの意義を理解する。</li> <li>・楽しく安全に食べられるおやつを工夫して作ることができる。</li> </ul>
	10			
	11		・幼児の生活と遊び	
	12		・幼児のおやつ作り	
3	1	生活を豊かにするために	・布を使って作ってみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を豊かにするものを考え,工夫して製作できる。</li> <li>・製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができる。</li> <li>・家族との関わりを考え,家族関係をよりよくする工夫ができる。</li> <li>・高齢者の体の特徴を踏まえて,関わり方を工夫できる。</li> </ul>
	2			
	3		持続可能な家庭・地域生活	